

科目番号：AE14C83

科 目 名：日本語教育実習 B

担当教員：澤田浩子・鏡 耀子

成績評価方法： ①教材分析の発表内容：10% ②教案・教材作成および模擬授業：20% ③教案・教材作成および教壇実習：30%
④ピア・フィードバック：10% ⑤最終レポート：30%

成績評価基準：

	A+ (90 点以上)	A (80～89 点)	B (70～79 点)	C (60～69 点)	D (60 点未満)
① 教材分析の発表内容 (10%)	教材の構成やねらい、単元で扱われている学習項目や活動を十分に理解し、他の教材との比較の上で、しっかりとした検討ができている	教材の構成やねらい、単元で扱われている学習項目や活動を十分に理解し、他の教材との比較・検討ができている	教材の構成やねらい、単元で扱われている学習項目や活動を理解し、他の教材との比較ができている	教材の構成やねらい、単元で扱われている学習項目や活動が、ある程度把握できている	教材の構成やねらい、単元で扱われている学習項目や活動が、十分に把握できていない
② 教案・教材作成および模擬実習 (20%)	教授内容を十分に理解し、非常に優れた実践ができている	教授内容を理解し、優れた実践ができている	教授内容を理解し、妥当な実践ができている	教授内容の理解に問題はあるが、実践はできている	教授内容の理解ができず、実践が適切でない
③ 教案・教材作成および教壇実習 (30%)	模擬実習でのフィードバックを踏まえ、十分に改善した上で、非常に優れた実践ができている	模擬実習でのフィードバックを踏まえ、十分に改善した上で、優れた実践ができている	模擬実習でのフィードバックを踏まえ、改善した上で、妥当な実践ができている	模擬実習でのフィードバックを踏まえた改善が十分ではないが、実践はできている	模擬実習でのフィードバックを踏まえた改善がなされておらず、実践が適切でない
④ ピア・フィードバック (10%)	授業改善の視点に非常に優れ、有意義で建設的なフィードバックを行うことができている	授業改善の視点に優れて、建設的なフィードバックを行うことができている	授業改善に必要なフィードバックを行うことができている	十分と言えないが、授業改善に必要なフィードバックを行うことができている	授業改善に十分なフィードバックを行うことができている
⑤ 最終レポート (30%)	実践過程が客観的に示され、内省および改善の提案に説得力があり、自己成長が読み取れる	実践過程が客観的に示され、内省および改善の提案に説得力がある	実践過程が客観的に示され、内省および改善の提案が記されている	十分とは言えないが、実践過程や内省および改善の提案が記されている	実践過程の記述や内省および改善の提案ができていない